

果樹栽培 省力化に貢献

愛媛農機販売

(松山市)



愛媛のかんきつ産業への貢献を図る
米山尚志社長

1949年4月に果樹用の動力噴霧器とエンジン販売する松山メイキ商會を故・米山信介氏が創業。66年には、ミカン搬出作業の負担を軽減するため、急傾斜地運搬機「モノラック」を米山工業(松前町)、ニツカリ(岡山市)と共同開発し、果樹栽培の省力化と効率化に大きく貢献した。世界初の農業用モノレールとされる「モノラックM-1」は今年8月、日本機械学会が選定する機械遺産に認定された。昨年の西日本豪雨では、宇和島市や松山市島しょ部のモノレールが大きな被害を受け、復旧作業に奔走した。

複数メーカーの農業機械を取り扱っていたが、農業者減少やメーカーとの競争激化など取り巻く環境が激

化。今年1月、事業の維持、継続を目的に宇和島、西条など県内6営業所をヤンマグループに移行した。モノラックや果樹関係機械の卸事業、修理業を行う「本社事業」と瀬戸内の島々で小売り、メンテナンス事業などを担う「中島営業所」に注力する。

2代目の米山尚志社長(66)は「果樹地帯で使われる機械をメインに愛媛のかんきつ産業に貢献したい」と話した。(亀井昶希)